

令和7年度 学 校 評 価

内子町立小田小学校

- 1 実施期日 令和7年12月～令和8年2月 対象 保護者21名 児童28名 教職員10名
 2 評 価 5段階評価（そう思う・だいたいそう思う・あまり思わない・思わない・分からない）
 3 評 定 肯定的意見・・・「思う・やや思う」、否定的意見・・・「あまり思わない・思わない」

教 育 目 標	ふるさとに誇りを持ち、自ら学び、自ら考える児童の育成
基 本 方 針	・「生きる力」を育み、子供一人一人が輝く学校づくり ・心の教育の充実を図り、人権が尊重される学校づくり ・「ふるさと小田」のよさを生かした特色ある学校づくり ・安心・安全で信頼される学校づくり

平均80%以上・・・A、但し75%以下がある場合・・・B

	アンケート項目	評価結果	考察・改善	学校評価委員の評価	評定
児童の様子について	○ 児童は楽しく学校に通っている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 100% 教職員 100%	それぞれの評価で「児童は楽しく学校に通っている」が100%になっている。学校では分かる・楽しい授業、全校遊びでの人との交流の場の設定、児童への称賛による自己肯定感の向上に努めてきた。今後も安心して楽しく通える学校づくりに努めていく。	・子供たちから進んで挨拶ができていていると思う。 ・挨拶は個人差があるかもしれないが、しっかり自分から大きな声でしてもらいたい。 ・学校の行き帰りの挨拶は素晴らしいが、土日にスバルなどですれちがうと「誰だろう」と警戒されていると感じた。 ・いつも元気の良い挨拶をしてくれる。 ・笑顔で挨拶ができています。若干声にはりがないと感じるときがある。	B
	○ 児童は、進んで挨拶をしている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 90% 教職員 89%	挨拶の意識向上の取組として、挨拶リーダーを募集し、毎朝児童玄関で挨拶運動を行っている。挨拶は評価委員会のご指摘のように個人差がある。誰に対しても気持ちの良い挨拶ができるよう今後もこの取組を継続していきたい。		
	○ 児童は、外で遊ぶなど進んで体を動かしている。	肯定的意見 児 童 86% 保護者 76% 教職員 89%	小田小の児童は、外遊びが大変好きで、休み時間には、外に出て元気に遊んでいる。		
	○ 児童は、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的習慣が身に付いている。	肯定的意見 児 童 86% 保護者 90% 教職員 67%	毎学期「生活チェック表」を活用し、家庭での生活の様子を確認している。ゲームなどの時間が多い。保護者と協力して基本的な生活習慣の定着を図っていききたい。		
学習指導について	○ 児童は、授業が「分かりやすい」または「楽しい」と思っている。	肯定的意見 児 童 93% 保護者 85% 教職員 100%	タブレット端末を使って調べ学習やまとめの発表をすることが増えてきている。また、高学年では、家庭に持ち帰って自分の苦手な教科等の補充を行うことがある。職員研修を充実させ、より効果的なタブレット端末の活用にも努めていきたい。	・タブレット端末を使用することで、子供たちが積極的に授業に取り組む姿勢が見られていると思う。 ・概ね良い評価が得られており、創意工夫されている授業が行われていることが分かる。家庭学習は、若干7月より下がっているので引き続きご指導をお願いしたい。 ・少人数のためか、自分の考えを伝え合うことができていないように思う。個々の意見を大切にし、話し合う活動がより多くあると良い。	B
	○ 児童は、家庭で学習する習慣が身に付いている。	肯定的意見 児 童 75% 保護者 71% 教職員 56%	少人数授業の長所を生かし、授業では一人一人が自分の考えを発表する場面が多い。対話する力の育成を目指して取り組み、問い返しや主題設定の工夫に取り組んでいる。今後も自分の考えを積極的に発言できる力を身に付けさせていきたい。 学年によって、家庭学習の目標時間を設定しているが、達成できていないので、勉強の仕方を紹介するなど、サポートしていきたい。		
生徒指導・児童理解について	○ 児童は思いやりのある心が育っている。	肯定的意見 児 童 96% 保護者 95% 教職員 100%	上級生が下級生をいたわったり、困っている友達に力を貸したり、子供たちの優しい行動をたくさん見ることができる。全校遊びを定期的の実施し、異学年が交流する機会を設定することによって、相手の気持ちを考えることにつなげている。ただし、時には友達に対して思いやりに欠ける言葉遣いをする事があり、その都度指導をしている。	・子供たちが楽しく、また何か問題が起こればきめ細やかな対応がなされ学校に信頼があるように思う。 ・いじめ・不登校をなくすためにも引き続きこまめに連絡を取り、子供たちの悩みやストレスなど早期発見に努め、相談しやすい環境を作ってほしい。	A
	○ 学校は、いじめや差別のない楽しい学校づくりに努めている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 95% 教職員 100%	子供たちが安心して生活できるよう、子供たちの言動に注視していきたい。そして、善い行いは称賛し、間違った言動は見逃さず何がいけなかったのか理解させるような指導を続けていく。	・発表会などを通して、豊かな心が育っていると感じる。	
	○ 学校は、児童理解や信頼関係づくり努めている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 95% 教職員 100%			

特色ある教育活動	○ 学校は、小田の人・自然・文化を生かした教育活動の充実に努めている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 100% 教職員 100%	今年度、創立 150 周年記念と関連して、学校の歴史や和太鼓について学習し、式典・学芸会で地域の方に紹介することができた。総合的な学習の時間には、野鳥観察、水生生物調査、巨木、城跡見学など、ふるさと学習を充実させることができた。 学校運営協議会で作成した地域人材バンクを更に活用し、地域の方を巻き込んだ活動ができるよう取り組んでいきたい。	・ふるさと学習は、小田の特長を生かして良い取組ができていると思う。 ・社会見学などの体験学習やスキーなど、地域を介した指導がなされていると感じる。 ・今後の地域との関わり合い方を情報として提供していただきたい。	A
健康・安全教育	○ 学校は、健康安全や防災教育の充実に努めている。	肯定的意見 児 童 100% 保護者 100% 教職員 100%	自治会、幼小中合同の避難訓練を行った。簡単にご飯を炊く方法や消火訓練など、実践を交えての避難活動ができた。 健康安全教育の充実として、高学年では薬物乱用防止の授業や SNS による被害からの予防についての学習を、外部講師を招聘して行った。	・日頃から安全教育、防災教育に熱心に取り組まれていることが分かる。 ・SNS や YouTube、ゲームなど今時の問題があるが、禁止でなく、どう区切りを付けてあげるかがポイントだと思う。	A
	○ 学校は、児童の病気やけがなどの対応を適切に行っている。	肯定的意見 児 童 96% 保護者 100% 教職員 100%	保護者の安全パトロールに関しての課題として、年度初めに役割分担表を作成したが、その後の周知がなかったので、学校からの呼び掛けの必要性を感じた。 職員は、児童の健康状態やけが等の様子について、養護教諭と連携して対応し、保護者にも丁寧に連絡をするよう心掛けている。今後も、子供たちの安全を第一に考え、対応していきたい。	・登下校の見守り、安全パトロールなど、子供たちが安心して学校生活が送れるように、環境づくりがされていると思う。	
	○ 学校は、子どもが安心して学べるような施設環境になっている。	肯定的意見 児 童 93% 保護者 100% 教職員 100%		・地域と協力した防災活動がよい。しかし、高齢化の進むこの地域なので、子供自身の意識や自助力を高めることも必要である。	
保護者・地域との連携	○ 学校は、学校・学級通信・HPなどで積極的に児童の活動の様子等を伝えている。	肯定的意見 児 童 71% 保護者 100% 教職員 100%	ホームページを活用して、子供たちや学校の様子を伝えることができた。また、今年度は 150 周年記念に際して、地域全戸に学校オリジナルのクリアファイルを届けて、学校への関心を高める工夫をした。地域で学校を支える風土を高めていくために、今後も地域を巻き込んだ活動を模索していきたい。	・ホームページには、日常の活動が発信されており、子供たちの活動の様子が分かる。 ・地域の参観日とかイベント開催をして、地域の方にも見てもらえる機会を作ってはどうか。	B